

## 「平成30年7月豪雨災害 竹原市復旧・復興プラン」の進捗状況等について

〔 令和2年9月18日 〕  
総務企画部危機管理課

### 1 趣 旨

平成30年7月豪雨災害から2年経過したため、平成30年11月に策定した「平成30年7月豪雨災害 竹原市復旧・復興プラン」の進捗状況についてとりまとめるとともに、令和2年度末までの期間を1年間延長する。

### 2 各施策の主な進捗状況

(令和2年7月末現在)

実施施策	主な取組	取組状況
1 暮らしの再建	竹原市地域支え合いセンターの運営	・「地域支え合いセンター」において、被災者の見守り・相談支援、サロン活動によるコミュニティづくり、心のケアチームの専門家による心のケアの実施などに取り組んでいる。
	被災者の生活支援・再建(住宅の確保・被災住宅の応急修理)	・公営住宅については、被災者に対する無償提供により仮住居の確保を行うとともに、被災した60戸に対して、応急修理費用の一部を負担した。
2 まちの復旧	公共施設等の復旧(河川, 道路, がけ崩れ, 農地・農業用施設, 水道施設)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・道路・河川・橋梁等の公共施設については、工事発注・契約済みが189件(約93%),うち工事完了が121件(約60%)。</li> <li>・農地・農業用施設については、工事発注・契約済みが91件(約78%),工事完了が66件(約56%)となっている。</li> <li>・水道施設については、管路1ヶ所を除き、全ての施設で復旧した。</li> </ul>
3 そなえの強化	地域防災リーダーの育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・活性化が必要な自主防災組織に対して県自主防災アドバイザーを派遣し、防災出前講座の開催や図上訓練を実施した。</li> <li>・また、広島県の事業を活用し、忠海東町自治会連合会において、図上訓練や避難訓練を実施し、避難の呼びかけ体制を構築した。今後、他団体においても呼びかけ体制の構築に取り組んでいる。</li> </ul>
	災害協定の見直し・新規締結	・令和元年9月以降、情報発信や災害時の資機材や物資調達等に関する災害応援協定について、新たに5企業と締結した。
	その他	・竹原市総合防災ハザードマップを作成し、周知を図った。

### 3 取組み項目の一部期間延長について

令和2年度中の事業完了が困難なことから、次の項目について、令和3年度末まで1年間延長する。

延長する項目	復旧完了期間が延長となる主な理由
・公共土木施設等の復旧(河川, 道路, がけ崩れ)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・建設事業者の手持ち工事が多く、必要な技術者の確保等が困難なことから、不調・不落になるケースが依然として発生し、事業の進捗に遅れが生じている。</li> <li>・技術者の工事兼務制限の緩和や発注時期の平準化等に取り組みながら、復旧工事の早期契約と、市民生活に影響が大きい契約済みの工事の早期の完成に取り組む、広島県所管復旧工事とも連携を図りながら、令和3年度中に完了させる。</li> </ul>
・農地・農業用施設等の復旧	